

## 高まる CAD 需要に合わせて、より実践的な講座に アビバ CAD 講座をリニューアル ～リンクアンドモチベーショングループの標榜する実践力ある人の育成を目指

リンクアンドモチベーショングループの株式会社 アビバ(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長 田中良一、以下アビバ)は、2013年2月にパソコンにおける設計支援ツールである「CAD」の講座をリニューアルいたしました。

今回一新された CAD 講座では、「Auto CAD LT2006 建築 CAD 講座」と「CAD 利用技術者試験 2 級対策講座」の 2 つのコースをご用意いたしました。

従来の講座では、CAD 操作における「機能の習得」を主目的としており、「CAD を使える人」の育成をゴールとしていたのに対し、新講座は「機能の習得」はもちろん、実際の CAD の活用シーンを想定したカリキュラムによる「実践スキルの習得」を主目的としております。これにより、実践の場で即戦力となりうる、「CAD を使って業務で活躍できる人」の育成までを見据えた講座に生まれ変わりました。

また、「CAD 操作」だけでなく、「建築基礎」を学習いただくことにより、製図・建築の知識がない方でも学習いただける構成にすることで、受講の間口も広げております。

\*\*\*\*\*

### ■Auto CAD LT2006 建築 CAD 講座

大手建設会社グループ企業とのタイアップでより実践的に学ぶ！

日本の大手総合建設会社の鹿島グループの「アクト・テクニカルサポート」とのタイアップ講座となっており、同社が設計現場で培った豊富なノウハウをもとに開発した「CAD オペレーター養成教育カリキュラム」を使用しています。建築物が完成するまでの流れを疑似体験することで、実務に必要な機能をひとつずつ学習していくことが可能です。

また、CAD の操作スキルだけに偏るのではなく、一級建築士を講師に招いた建築知識の学習カリキュラムも含まれているので、建築知識自体の習得にも役立ちます。

さらに、当講座で習得したスキルを活かすための CAD 求人紹介サポートも、上場企業の求人を多数紹介している「アクト・テクニカルサポート」で派遣登録が可能となっております。

※本コースは、映像視聴により学習します。映像コンテンツは、AutoCAD LT2005 を使用しますが、教室では、AutoCAD LT2006 を使用いたします。

有効期限:5ヶ月

受講回数:31回 (1回90分)

## ■CAD 利用技術者試験 2 級対策講座

CAD 試験の登竜門の突破をサポート!

CAD 資格の中でも知名度が高く、優遇対象資格としている企業も多い CAD 利用技術者試験の対策講座で、CAD に特化した内容だけでなく、IT の基礎知識の習得も可能なプログラムとなっています。

有効期限:3 ヶ月

受講回数:14 回 (1 回 90 分)

機能学習と資格取得対策を合わせて学習できるセット講座もご用意しています。

\*\*\*\*\*

震災復興にともなう社会情勢的な CAD 需要の高まりにより、CAD 学習による就職・転職のニーズも高まってきている中、ビジネスの場で即戦力となりうるスキルを習得したいと考えている方々に対し、より実践的で良質な学習コンテンツを提供することで、新たな顧客層として取り込むことを狙っています。

また、既存の受講生に対しても、業種を問わず活用できる Office アプリケーションの操作スキルだけでなく、より専門性の高いスキルを身につけていただくことで、ご自身の市場価値を高めるための選択肢を増やすというメリットをご提供できるものとなっております。

この講座のリニューアルに伴い、前期(2012 年)比で CAD 講座入会者数 150%を目標としております。

### ★★★アビバの取り組み★★★

アビバでは、「週 2 回」「月 8 回」の 2 つの学習スタイルをご用意しており、スキル習得に際し、受講生の方にあったペースで学ぶことが可能となっております。また、授業においては、一人ひとりに目が行き届く「個別指導」のシステムを導入。受講中も定期的に、インストラクターが個別にカウンセリングを実施し、習得度合いや今後の目標などについてもお伺いし、目標実現をサポートしております。

こうしたサービスの差別化により、緩やかなシュリンクが続けているパソコンスクール市場においても多くの受講生様に通学いただいています。

また、アビバでは単なる PC スキルの習得だけでなく、業務効率を高め、業務の幅を広げるというビジネスの現場で“活かせる”スキルが学べる指導を行っております。

アビバでは、こうした“活かせる”スキル習得のサポートだけでなく、実践で“役立つ”資格取得の面でも支援できる「PC スキルの大手総合商社」を目指すべく努めてまいります。